

「まちづくりフォーラム」 パネラー等の紹介

◆ 東海大学建築都市学部土木工学科教授・工学博士 梶田佳孝（かじたよしたか）

九州大学大学院工学研究科修了、同大学大学院助教を経て現職

専門：都市、交通計画

著書：「まちづくり・ひとづくり・地域づくり -九州のとくみ 20 選-」権歌書房 2011年

所属学会：土木学会、日本都市計画学会、日本建築学会など コモンズ研究会 座長

委員：秦野市都市計画審議会会長、海老名市同審議会会長、藤沢市同審議会委員など多数。

◆ 一般財団法人 都市防災研究所理事・上席研究員 守 茂昭（もりしげあき）

1955年生まれ 東京大学工学部卒業 現在：東京駅周辺防災隣組副代表 事務局長

1984年(株)EX 都市研究所に入所し、高度情報通信都市・計画シンクタンク会議事務局長に就任。

1994年より日本都市計画家協会事務局長を歴任。NPO 法人日本都市計画家協会理事

著書：「東日本大震災を受けた地区防災計画制度の創設に関する考察—災害対策基本法改正及び内閣府の「共助による支援活動調査」を踏まえて」共著・2014年など

◆ 株式会社まちづくり工房 代表 大橋南海子（おおはしなみこ）

北海道大学卒業、工学博士、技術士、一級建築士、区画整理士、都市農地アドバイザーなど。

2000年綾瀬市中心市街地活性化基本計画策定委員会委員を歴任後、綾瀬インターチェンジ、環境、まちづくり、農業公園、学校教育、景観等の綾瀬市専門委員を多数歴任。

著書：「人口減少時代における土地利用計画」土地利用研究会編著 2010年

アドバイザー：（一社）すまいづくりまちづくりセンター連合会 （一財）都市農地活用支援センター

◆ 綾瀬市まちづくり研究会 事務局長 栗原茂明（くりはらしげあき）

1955年生まれ綾瀬市小園出身。青山学院大学経済学部卒業後、綾瀬市役所勤務を経て、2000年より栗原興産株式会社代表取締役、(株)コモン不動産研究所代表。綾瀬市商工会理事、(公社)大和法人会

理事、NPO 日本都市計画家協会・元理事、元綾瀬市都市計画審議会委員

元綾瀬インターチェンジ建設推進協議会事務局長・次長(2006～2017年)

H23 （一社）日本不動産学会 第27回学術論文発表「コモンズの輪による復興まちづくり計画の提案」

■ 認定 NPO 法人日本都市計画家協会（JSURP）

都市・地域計画の専門家、まちづくりに興味がある人など多様な人が参加して「まちづくりで社会貢献しよう」と自主的に活動している組織。1994年に設立し、2001年に NPO 法人化。

活動：都市・地域づくりに関わる活動（調査や研究、政策の提言、活動主体への支援や協力等）

東日本大震災復興支援、熊本地震復興支援、全国まちづくり会議 IN 東京ちよだ(2023年10月7、8日開催)や研修、研究会など多数の事業を実施中。

会員：全国からプランナー、研究者、教育者、市民等 約400名が参画している。

■ コモンズ研究会

JSURP の会員が興味あるテーマを設定し自主的に研究を行っている組織。

4名のパネラーは、全員がコモンズ研究会のメンバー。



綾瀬市まちづくり研究会

綾瀬市及び中心市街地の活性化、産業の創造と振興、市民生活・文化性の向上、交通利便性の向上、都市価値の向上などに係る施策・事業の調査・研究、提言などを実施し、豊かな21世紀の綾瀬市をすることを目的とし、15名の役員で構成する任意の市民団体。平成30年12月6日から活動を開始し、コロナ禍を経て令和5年7月22日に活動を再開。

★ホームページ：綾瀬コモンズ <https://www.ayasecommons.com/>